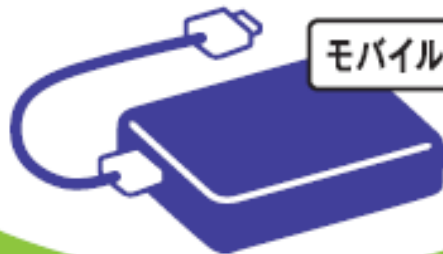


これ、ごみに
出してもいいの？



モバイルバッテリー



絶対にダメよ！

リチウムイオン電池
が入っているからね

多くの充電式の家電製品には、
リチウムイオン電池が入っています。
過度な力が加わると発熱・発火する危険があります。



発火した充電式製品



電子タバコ



スマートフォン



電動歯ブラシ



ハンディクリーナー



電気シェーバー

廃棄する時は、お住まいの市町村の分別排出ルールに従ってください。



市民の皆さまへ

あなたが頼りです

電子機器の処分は、
どうすればいいのかなあ？



リチウムイオン電池 ➡ 「有害ごみ」の日

リチウムイオン電池以外 ➡ 「不燃ごみ」の日

充電式の電子機器は、リチウムイオン電池のリサイクル工場に運ばれると、
コバルト、ニッケル、マンガンなどのレアメタルが回収されます。

それらは再び資源として有効利用されるのです。



容器包装プラスチック類や不燃ごみなど、
有害ごみ以外のごみと混ぜて出す



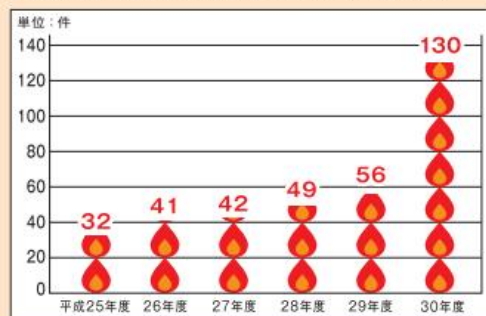
リサイクル工場では、本来あるはずのない充電式の電子機器が、処理工程で押しつぶされ、**内蔵のリチウムイオン電池からショート・発火する事故が多発**しています。プラスチックで覆われていることの多い電子機器は、磁石による選別除去が難しく、一度発火してしまうと、

燃えやすいプラスチックがまわりにあるために、なかなか消火することができません。工場作業員も危険ですし、機械や設備の復旧に数か月かかるなどリサイクルシステムへの影響は計り知れず、大変困っています。

●リチウム電池の発火イメージ



●全国の再生処理事業者での発煙・発火トラブル件数の推移



日常生活に欠かせない充電式の電子機器には、**リチウムイオン電池が内蔵**されています。この電池は小さく軽量でありながら、大きなパワーが出せ寿命も長いという特性を持っています。一方でリチウムイオン電池には、燃えやすい液体が入っており、**強い衝撃や圧力が加わった時に発火につながりやすい**ケースがあります。

リチウムイオン電池を充電式の家電製品から取り出せない場合はどうしたらいいの？

できる限りリチウムイオン電池以外の付属品を取り除き、取り外しが困難な旨の張り紙をして「有害ごみ」の日にお出してください。

※リチウムイオン電池以外の付属品は「不燃ごみ」の日にお出してください。